

トピックス

※トピックス記事の中には、議会のホームページで詳しく掲載しているものもありますので、ぜひ、ご覧ください。

女子柔道 素根輝選手がアジア大会の優勝を報告

9月11日、久留米市立南筑高等学校柔道部の素根輝(そねあきら)選手が、アジア競技大会柔道女子78kg 超級での優勝などを報告するため、県議会を訪問されました。



井上順吾議長は南筑高校柔道部OB会会長の原口剣生自民党県議団会長らとともに素根選手の栄誉をたたえ、「皇后盃全日本女子柔道選手権大会での優勝、金鷲旗高校柔道大会女子の南筑高校2連覇、そしてアジア競技大会柔道女子での優勝、誠にありがとうございます。アゼルバイジャンで開催される世界柔道選手権大会でも活躍されることを期待しています。県議会も応援していますのでがんばってください」と挨拶しました。

素根選手は、「2020年東京オリンピックも金メダル目指してがんばっていききたいと思います」と笑顔で答えていました。

※素根選手は、世界柔道選手権大会の男女混合団体戦(9月27日)に出場し、優勝しました。

タイ王国総領事館が福岡に開設

県議会の働きかけが実り、10月1日、タイ王国総領事館が福岡市に開設されました。この日、新たに在福岡タイ王国総領事として着任されたアッタカーン・ウォンチャナマース総領事が県議会を訪問され、井上順吾議長、畑中茂広副議長をはじめ、各会派の代表者及び福岡県タイ友好議員連盟の役員が新総領事の訪問を歓迎しました。

井上議長は「日本と縁があり、海外での経験豊富な方が着任されて大変心強い。今後、福岡総領事館を拠点にタイ王国と福岡県の経済・文化・人的交流がますます盛んになることを期待しています」と挨拶しました。

アッタカーン総領事は「福岡に総領事館を開設できたのは福岡県議会の皆様のおかげであり、これまでのご協力に感謝いたします。福岡県民はとても友好的でタイとの間には親しい関係がある。今後も経済、投資、文化、教育、さらに観光などの分野で関係を深めたい」と述べられました。



スポーツを通じて知的障がいへの理解促進

9月8日、久留米総合スポーツセンター(久留米市)等で第38回ときめきスポーツ大会が開催され、井上順吾議長、堤かなめ県民生活商工委員長をはじめ、地元県議が出席しました。

この大会は、スポーツを通じて知的障がい児・者の自立と社会参加、県民の理解促進を図ることを目的として毎年開催され、第38回となる今年の大会には陸上や卓球など4競技に108団体1,560名、ボランティア等を含めると総勢約2,300名が参加しました。

開会式において井上議長は、大会関係者やボランティアの皆さんに感謝の言葉を述べるとともに、「日ごろの練習の成果を存分に発揮していただき、この大会を通じて交流と友情の輪がますます広がり、素晴らしい大会となることを期待しています」と挨拶しました。



政府への予算要望

11月7日、井上順吾議長は小川洋知事とともに、地元選出の国会議員へ県政の重要課題について説明し、理解を求めるとともに、関係省庁等を訪問し、県政推進のため国の施策・制度・予算に対する提言・要望を行いました。



地元選出国会議員への説明

主な要望項目は以下のとおりです。

- ・平成30年7月豪雨災害からの復旧・復興に向けた支援
- ・九州北部豪雨災害からの復旧・復興に向けた継続的支援
- ・「子ども・子育て支援」の充実・強化
- ・障がい者福祉施策の充実
- ・地域に根ざした中小企業・小規模事業者対策の充実・強化
- ・魅力あふれる農林水産業・活力あふれる農山漁村の実現に向けた施策の充実
- ・地域におけるまち・ひと・しごと創生に向けた取組みの推進
- ・福岡空港・北九州空港の機能強化及び連携強化 など

福岡県で13都道府県議会議長会議を開催

11月8日、第229回13都道府県議会議長会議が担当県である福岡県で開催され、井上順吾議長、畑中茂広副議長が出席しました。

この会議は、大都市を有する都道府県(北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県)に共通する問題を解決すること等を目的としており、今会議では開催県の井上議長が座長を務め、本県が提案した「勤務獣医師の人材確保について」ほか12項目について、国などの関係機関に要望することを決定しました。



この会議は、大都市を有する都道府県(北海道、宮城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、福岡県)に共通する問題を解決すること等を目的としており、今会議では開催県の井上議長が座長を務め、本県が提案した「勤務獣医師の人材確保について」ほか12項目について、国などの関係機関に要望することを決定しました。

第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会 福岡大会

11月2日～4日まで、第35回伝統的工芸品月間国民会議全国大会が30年ぶりに福岡県で開催されました。県議会では9月定例会中の決算特別委員会において、本大会を契機に伝統工芸品産業への取り組みを強化していく重要性について質疑が行われました。



大会に先立ち11月1日には記念式典が高円宮久子妃殿下御臨席のもと開催され、来賓あいさつで井上順吾議長は「地域の歴史や風土に根付いて生まれ、長い歴史の中で育まれてきた伝統的工芸品は、地域の文化や特色を伝える貴重な財産である」と伝統的工芸品産業を支えていく必要性を述べました。

大会期間中は県内の国指定伝統的工芸品(7品目)や県知事指定特産民工芸品(34品目)の展示、販売、実演等のほか県内各地で関連事業も行われ、県内の伝統的工芸品の魅力を国内外に発信する良い機会となりました。

※福岡県内の国指定伝統的工芸品には、伝来777年の節目を迎えた博多織をはじめ博多人形・上野焼・久留米餅・八女福岡仏壇・小石原焼・八女提灯の7品目があります。